



復興庁

Reconstruction Agency

新たなステージ 復興・創生へ

記者発表資料

平成 30 年 6 月 4 日

復興庁福島復興局

平成 30 年度「新しい東北」交流拡大モデル事業(地域型)選定結果

平成 30 年度 福島県交流拡大モデル事業

- 平成 28 年 4 月に、産官学の有識者により構成される「東北観光アドバイザー会議」において、観光復興の重要性が提言されました。
- これを受け、福島復興局では全国的なインバウンド観光客急増の効果を県内にもたらすべく、インバウンド誘客向けコンテンツ開発等を行ってまいりました。
- 今年度、福島復興局では、平成 30 年度 福島県交流拡大モデル事業を通じ、インバウンド向けプログラムの開発・販売までを見据えたビジネスモデルの立ち上げを支援し、インバウンド誘客を通じた観光復興を目指します。

今回、平成 30 年 4 月 13 日から平成 30 年 5 月 14 日までの期間で本事業に係る提案の公募を行いました。

応募提案について、企画審査委員会において厳正な審査を行った結果、下記の提案を選定いたしましたので、お知らせいたします。

(詳細については別紙参照)

【ホープツーリズム型】

- ホープツーリズム海外誘客事業（福島県観光物産交流協会）

【風評被害払拭型】

- フードバリューチェーン学習の場としての福島ブランドの確立と風評被害払拭事業（電通）

問合せ先：

復興庁福島復興局観光担当 松田、荒尾、中野

電話番号 024-522-8513

平成 30 年度 福島県交流拡大モデル事業選定案件

【ホープツーリズム型】

- 提案名：ホープツーリズム海外誘客事業
- 事業者：公益財団法人 福島県観光物産交流協会（協力：国立大学法人 福島大学、一般社団法人 Bridge for Fukushima 等）
- 概要：①留学生向けモニターツアーを通じ、ホープツーリズムを唯一無二の学びのコンテンツとして磨き上げる。②また、福島の実状を正しく伝えるべく英語版アテンドマニュアルの作成及び通訳ガイド研修による受入体制の整備を図る。③加えて、国内外での認知度を上げ誘客を行うための Web 基盤の整備を行い、継続的な交流人口の拡大を目指す。

【風評被害払拭型】

- 提案名：フードバリューチェーン学習の場としての福島ブランドの確立と風評被害払拭事業
- 事業者：株式会社 電通（協力：一般社団法人 ASEAN 食産業人材育成協会、福島民報社、株式会社 アップライトTV 等）
- 概要：ASEAN 食産業人材育成協会との連携により、震災復興により工場設備など産業インフラが一挙に再整備されている、福島の実産・加工・安全管理・流通のフードバリューチェーンを用いた、学習体験旅行プログラムを確立し、誘客を図るとともに、風評払拭の情報拡散を目指す。